

# 教育・研究の質の改善に対して 大学評価をどう活かすのか

梶山千里  
九州大学総長  
国立大学協会副会長

1

## 概要

1. 国立大学法人にとっての大学評価
2. 九州大学の経験(取組み事例)
3. 教育・研究の質に関する大学評価への提案

2

## 1. 国立大学法人にとっての大学評価

### 1) 大学の新たな課題と競争的環境

- 知識基盤社会：  
大学の役割の変化と大学に対する社会的ニーズの多様化
- ユニバーサル段階を迎えた高等教育：  
大学進学率の上昇
- 大学財政の効率化：  
予算削減と職員削減

3

## 1. 国立大学法人にとっての大学評価

### 2) 大学に求められている対応

- 大学機能の多様化
- 高等教育の質保証と日本の大学の国際的通用性の確保の必要性
- 効率的且つ安定した大学運営

4

## 1. 国立大学法人にとっての大学評価

### 3) 国立大学の構造改革: 国立大学から国立大学法人へ

- 中期計画の策定とその評価
- 学長のリーダーシップによる大学運営
- 大学における教育・研究の強化: 世界水準の研究・教育拠点形成の支援を目標に定めた、21世紀COEプログラム

5

## 1. 国立大学法人にとっての大学評価

### 4) 第1章の部分的結論

### 大学

- 適切な自己評価の実施
- 評価制度の活用
- 独自の教育研究活動の強化

↓  
説明責任と改善

6

## 2. 九州大学の経験(取組み事例)

### 1) 姿勢の変化



- 評価を通じて、教職員が教育研究目標の重要性を再認識
- 目標の実現と質保証のために、自己評価の仕組みを確立

7

## 2. 九州大学の経験(取組み事例)

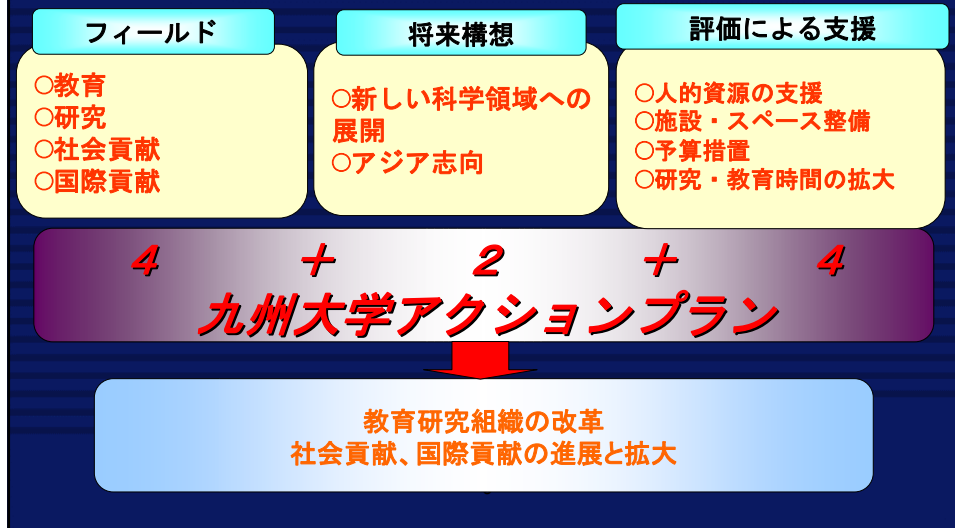
### 2) 大学の組織文化の確立のための原動力

- 教育憲章と学術憲章
- 中期戦略計画
- 九州大学の4+2+4アクションプラン:優れた研究者を支援する研究資金、COEの確立

8

## 2. 九州大学の経験(取組み事例)

### 3) 九州大学4+2+4アクションプランの図式



## 2. 九州大学の経験(取組み事例)

### 4) 新しい拠点: 九州大学4+2+4アクションプランの実現

#### 新しい科学領域への展開/アジア指向

- アジア総合政策センター
- システムLSI研究センター
- 未来化学想像センター
- バイオアーキテクチャセンター
- デジタルメディスン・イニシアティブ

## 2. 九州大学の経験(取組み事例)

### 5) スーパースタープログラム

個々の研究者に対する九州大学4+2+4アクションプランの実現

#### カテゴリ

- 21世紀COEプログラム
- シニアレベル
- ジュニアレベル
- 女性教員

## 2. 九州大学の経験(取組み事例)

### 6) 21世紀プログラム

#### 21世紀プログラムとは？

⇒ 「高い専門性を十分に備えたゼネラリスト」の育成

#### 九州大学独自の選抜方式

⇒ 大学入試センター試験の受験を必要とせず、独自の方法で選抜

一次試験：3つの講義を受講してレポートを作成

二次試験：ディベート ⇒ 小論文 ⇒ 面接

#### 九州大学独自の教育プログラム

⇒ 学部に属さず活動を通して専攻を決定する

**集中的な教養教育と語学教育**

**個別指導**

**多様な分野の講義を受講**

## 2. 九州大学の経験(取組み事例)

### 7) 大学の組織文化の確立に向けた取組み

- 5年ごとの評価と10年ごとの組織見直し
- 学部の構想と学長のリーダーシップ
- 高等教育機構の設置
- 教職員の評価
- 大学活動の情報収集と分析: 大学評価情報室の設置

13

## 3. 教育・研究の質に関する大学評価への提案: 目的

- 評価結果を確実に改善へとつなげる
- 大学全体の観点に立ち、計画を実施する
- 説明責任の改善と透明性の向上を確実にする

14

# 付録



## GDPに対する教育費の公的支出の割合

	2003		1995
	高等教育	教育全体	教育全体
デンマーク	2.5	8.3	7.7
アイスランド	1.4	7.8	m
ノルウェー	2.3	7.6	7.4
スウェーデン	2.2	7.5	7.2
フィンランド	2.1	6.5	6.8
フランス	1.2	5.9	m
米国	1.5	5.7	m
英国	1.1	5.4	5.2
オーストラリア	1.1	4.8	5.0
ドイツ	1.2	4.7	4.6
韓国	0.6	4.6	m
日本	0.6	3.7	3.6
OECD平均	1.3	5.5	5.3

出典:「図表で見る教育 OECDインディケータ(2006年版)」  
 ウェブサイト <<http://www.oecd.org/>>